

東京が切り拓く新時代の公園経営を目指して

(パークマネジメントマスタープラン)

—— 概要版 ——

平成 15 年 6 月の東京都公園審議会答申「今後の都立公園の整備と管理のあり方」を踏まえ、東京が切り拓く新時代の公園経営を目指してパークマネジメントマスタープランを作成しました。

本マスタープランでは、「生命を育む環境を次世代に継承する公園」「都市の魅力を高める公園」「豊かな生活の核となる公園」の 3 つの基本理念を設定するとともに、今後 10 年程度の実施と公園づくりを進めるために必要な仕組みをまとめました。

第 1 東京の公園づくりの基本理念

- 答申で示されたあるべき姿を踏まえ、都立公園の目指すべき方向性を示す 3 つの「基本理念」とし、10 の「公園づくりの目標」を定めました。

《基本理念》	＜公園づくりの目標＞
生命を育む環境 を次世代に継承 する公園	広域的な緑の系となる丘陵地等を保全、活用する 連続した緑の軸と拠点を設け、緑の骨格を形成する 都民・NPO 等との連携により動植物の生息・生育空間を守り育てる
都市の魅力を高 める公園	東京の顔となる歴史、文化を活かす公園づくりを進める 東京に風格を与える緑を創る 緑の防災ネットワークを創る 民間の活力・ノウハウを活かした公園づくりを進める
豊かな生活の核 となる公園	楽しさあふれる公園づくりを進める 安全・快適な公園づくりを進める パートナーシップによる公園の管理運営を進める

第 2 パークマネジメントへの転換

- 東京が目指す公園づくりの基本理念及び目標を達成するため、新しい仕組みづくりに取り組み、パークマネジメントへ転換していきます。
- パークマネジメントとは、新しい公園の魅力や可能性を発掘する視点から事業を実施するとともに、結果を評価して継続的に改善を行っていくことをいいます。

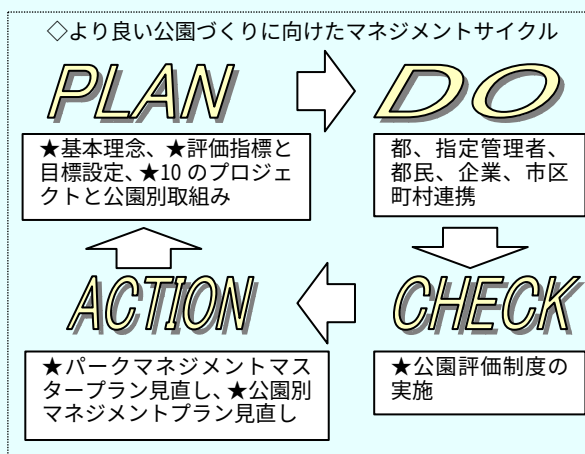
■ 3つの新しい取り組み

1. 公園評価制度を活用した継続的な改善

P D C Aサイクルに基づいたマネジメントサイクルを構築し、計画、実施、評価、施策の見直し、といった一連の取り組みを明確化し継続的な改善を行います

● 2つのレベルでの評価

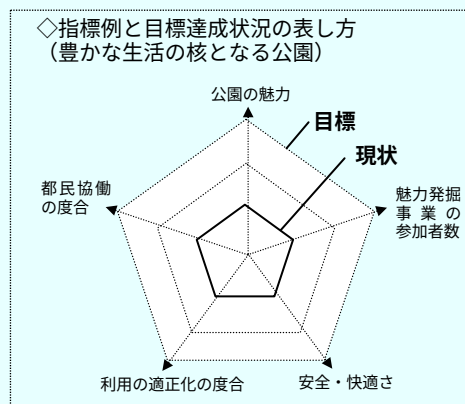
- ①公園ごとの評価（毎年）
 - ・利用者や住民が公園の管理・運営状況の評価
- ②都立公園全体の評価（3年程度）
 - ・公園審議会がマスタープランに基づく行政の取り組みを評価



2. 推進方策の確立

パークマネジメントを有効に機能させるため、**新しい制度の整備や見直し**を行います

- ①公園評価制度の導入と指標・目標値の設定
- ②重点化による効果的な事業推進
- ③都民の知恵、労力、資金を生かすしくみづくり
- ④規制見直しなどの制度整備



3. 多角的な視点による事業の展開

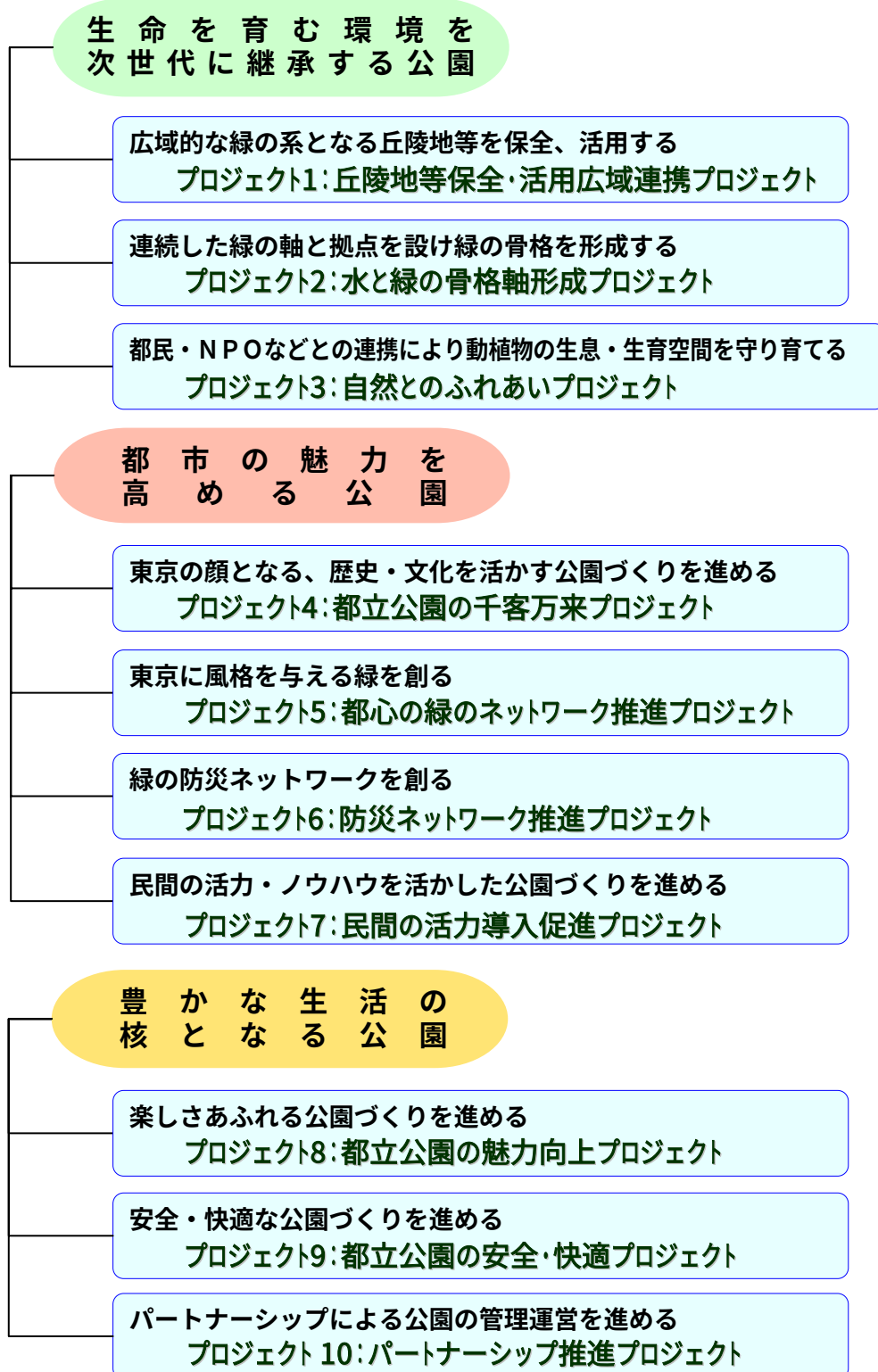
次の5つの視点

- ①広域的な視点 ②地域的な視点 ③貴重なストックを活かす視点
 - ④都民やNPOなどとの協働・連携の視点 ⑤公園緑地情報活用の視点
- を取り入れ事業を実施します

第3 目標の実現に向けた10のプロジェクト

- 公園づくりの目標ごとに、次の10のプロジェクトを展開していきます

体系図



プロジェクト 1

丘陵地等保全・活用 広域連携プロジェクト

多摩丘陵や狭山丘陵など、都県境を越えて連なる丘陵地を、関連自治体などと連携しながら、広域的に保全・活用していきます。

【主な取組み】

- 広域連携による丘陵地の保全・活用
 - 広域連携協議会（仮称）による丘陵地の総合的な保全・利活用
- 多様な生物の生息・生育環境を保全した丘陵地の公園緑地づくり
 - 里山の環境を守る丘陵地公園の整備
 - 都市近郊に残る緑地の保全 ほか

【指標】 自然の満喫度・他県市との連携度

プロジェクト 2

水と緑の骨格軸形成 プロジェクト

東京をうるおいのある緑豊かな都市としていくため、公園、幹線道路、水辺空間などの公共空間を活用し、効果的・効率的に水と緑の骨格を形成していきます。

【主な取組み】

- 水と緑の骨格軸の拠点の形成
 - 都立公園による緑の拠点の形成
- 多様な主体・手法による公園緑地整備
 - 道路・河川との連携による公園整備の推進
 - 新しい公園化手法の活用

【指標】 緑の公的空間確保量

プロジェクト 3

自然とのふれあい プロジェクト

里山の自然あふれる丘陵地の公園や生物の貴重なオアシスである市街地の公園など、公園毎の特性を活かしながら、動植物の生息地の保全と自然の大切さを伝える普及啓発を進めていきます。

【主な取組み】

- 自然体験活動、環境学習の拠点としての公園の活用
 - 里山作業体験、環境教育プログラム等の充実ほか
- 身近な生き物の生息・生育空間の保全・回復
 - 公園内の動植物の保全・育成活動の充実
 - 市民緑地制度で緑を守る ほか
- 動植物園等での野生動植物の保護増殖、普及啓発
 - 地球環境の大切さが伝わる、楽しい動植物園等へほか

【指標】 自然ふれあい空間の活用度・
保全計画エリアの面積

プロジェクト 4

都立公園の千客万来 プロジェクト

浜離宮恩賜庭園など、わが国一級の江戸の名園を保存・復元するとともに、上野恩賜公園や日比谷公園など歴史のある公園では賑わいを創出し、東京の顔として公園の魅力が一層高まるよう努めていきます。

【主な取組み】

- 文化財庭園の保全、再生、活用
 - 文化財庭園の復元・修復
- 東京の顔となる公園の観光拠点としての活用
 - 公園による東京の顔づくり
 - 年間パスポートなど企画入場券の開発
 - 観光案内機能の強化

【指標】 東京の顔となる公園等の年間利用促進度・
メディア出現度

プロジェクト 5

都心の緑のネットワーク 推進プロジェクト

東京駅前の行幸通りや神宮外苑のイチヨウ並木など、東京を代表する緑の都市景観の保全に努めます。また、周辺事業者と協力して、緑と文化にあふれる空間形成に努めていきます。

【主な取組み】

- 都心部の緑資源を活用した都市景観の向上
 - 街路樹による緑陰都市の実現
- 民間プロジェクト等と連携した新たな緑のネットワークの形成
 - 都心周辺における緑と文化のネットワーク形成の推進
 - 歴史の森としての青山霊園の再生

【指標】緑陰都市形成度

プロジェクト 6

防災ネットワーク推進 プロジェクト

環状7号線周辺などの都立公園を救援・復興活動の拠点となる公園として位置付け、避難場所指定を受けている公園などあいて、首都東京を守る防災公園ネットワークを創っていきます。

【主な取組み】

- 防災公園の整備、拡充
 - 救援・復興活動拠点となる都立公園の整備、拡充
 - 国との連携による東京臨海広域防災公園の整備
- 災害時における公園の有効活用
 - 都立公園震災時利用計画の策定

【指標】緑の防災ネットワーク形成度

プロジェクト 7

民間の活力導入促進 プロジェクト

民間の資金、経営能力などを活用し、新しい施設の導入や魅力的なイベントの企画運営をおこなうことで、都立公園の魅力を一層高め、東京の活性化に寄与するプロジェクトに取り組めます。

【主な取組み】

- 民間の活力、ノウハウを活かした公園施設の整備と管理
 - PFI的手法、ネーミングライツ等による民間活力の導入
 - 広告規制緩和による民間資金の導入
 - 民間によるイベントの積極的な誘致
- 指定管理者制度の導入によるサービスの向上
 - 指定管理者制度の導入

【指標】民活導入促進度

プロジェクト 8

都立公園の魅力向上 プロジェクト

都立公園にある豊かな樹林、歴史的な遺産など公園の貴重な資源の価値を積極的に掘り起こす事業を実施し、楽しさあふれる公園を目指します。

【主な取組み】

- 都民ニーズの把握と施策への反映
- 新しい公園の魅力発掘事業の実施
 - ヘブンアーティスト、野外劇などへの場の提供
 - ライトアップによる夜の魅力の創出
 - ドッグランの実施 ほか
- スポーツ施設の柔軟な活用と新しいレクリエーション需要への対応
- 根強い墓所需要への対応

【指標】公園の魅力度・魅力発掘事業の参加者数

プロジェクト 9

都立公園の安全・快適プロジェクト

都民が安全で快適に公園を利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、ホームレスなどの不適正な利用により公園本来の機能が阻害されないよう取り組んでいきます。

[主な取組み]

- 公園の適正な利用の確保
 - ホームレス地域生活移行支援事業の推進
 - 屋台等に対する設置基準づくりの検討
- 安心、安全な公園とするための改修・維持管理
 - 公園における危機管理の強化
 - 公園アセットマネジメントシステムの構築
 - 利用しやすい公園等の整備

[指標] 公園安全快適度・公園利用適正化度

プロジェクト 10

パートナーシップ推進プロジェクト

公園情報の受発信の強化に努めるとともに、民間が知恵、労力、資金を都立公園で活かすことのできる仕組みづくりなど、都民、NPO、企業とのパートナーシップによる公園運営を目指していきます。

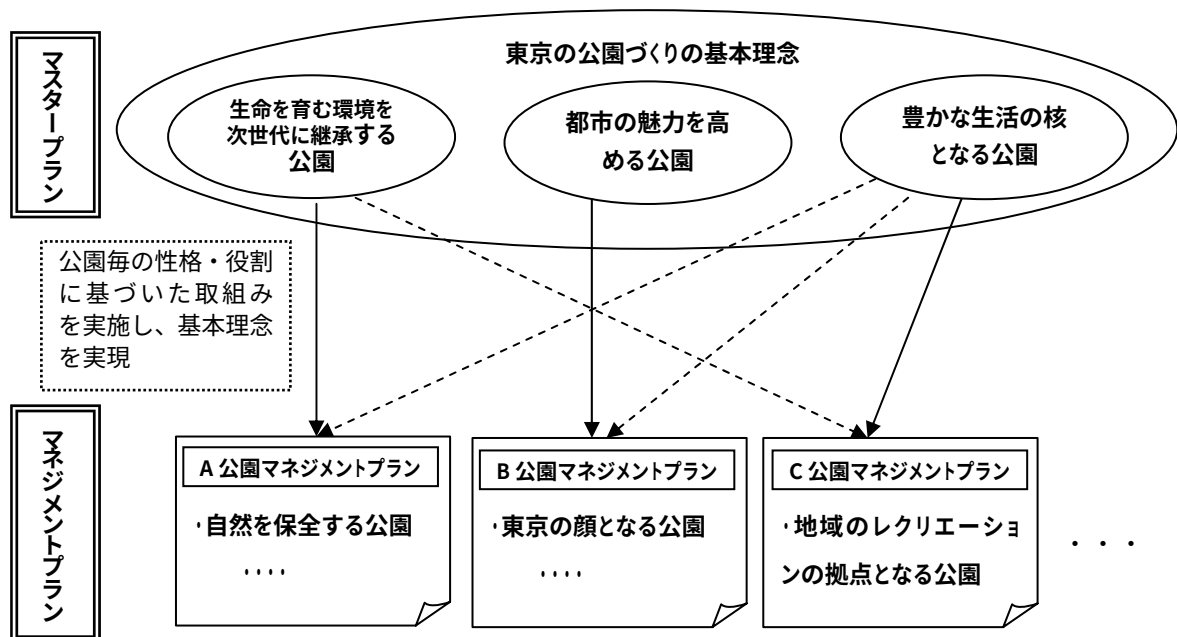
[主な取組み]

- 公園情報の受発信と管理所機能の強化
 - 情報受発信機能の強化 ほか
- 都民からの寄付の受け入れ
 - 公園・庭園を守り育てる仕組みづくり
 - 都民や企業からの寄付による公園施設の設置
 - 動物園サポーター制度の実施
- 都民・NPO等との連携による公園づくりの推進
 - 大自然塾の実施 野山北・六道山公園・水元公園等

[指標] 都民との連携度

第4 各公園のマネジメントプランの策定

- 本マスタープランに基づき、引き続き、各公園のマネジメントプランを策定していきます。マネジメントプランでは、公園ごとに、それぞれの特性を踏まえ、今後10年程度を見据えた公園ごとの目標、新規整備や改修・管理運営の方針などを定めて、個性豊かな公園運営を進めて行きます。



マスタープランとマネジメントプランの関係図